

# Caduceus Information

## カデューシャス 通信

Vol.26

(令和元年5月号)



(photo 総務課 本間重規)



### シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器 (ずがいこつせんこうき) に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にある **脳** は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

- ・ 訪問看護ステーションいづみ  
— 始動しました —
- ・ 新任ドクター紹介
- ・ スタッフ紹介
- ・ 外来診療体制 [平成31年4月から診療体制が変わりました]

## 訪問看護に思うこと

看護部長 千田 典子

患者さんやご家族から当院に「訪問看護があると良いのにね」と言われることが度々ありました。脳神経外科・脳神経内科の患者さんが退院後ご自宅で過ごすために訪問看護があった方がいいなと思っていました。



そして今年1月に待望の『訪問看護ステーションいづみ』が出来ました。その事務所は当院に隣接する場所にあつてとても近くて良いのです。何が良いかと言うと、入院中に訪問看護の看護師が何度でも直ぐに患者さんの病室へ足を運ぶことが出来ます。何度でも病棟の看護師やリハビリテーション科など患者さんに関わる他職種の皆と連絡を取り合うことが出来るのです。患者さんにご家族にとって退院後の生活が心配にならないように、顔を見ながら話し合い、準備していくことが出来ます。

『地域包括ケアシステムの構築』って聞いたことがあるでしょうか。国の政策として掲げられていることなのです。それは重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるように、また認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域の医療・介護・生活支援・介護予防など色々な分野が力を合わせていくことが必要で、それを実現していきましょう!という事を言います。『訪問看護ステーションいづみ』は当院にとって出来て良かったのではなく、地域で生活されている皆さんが安心して暮らせる存在になることが第一の目的なのです。そしてそれは『地域包括ケアシステムの構築』を实践する第一歩であると思っています。

**ご自宅に看護師など  
専門スタッフが訪問し  
安心して暮らせるよう  
あなたの療養生活を支えます**



## いづみがスタートして4か月がたちました♪

訪問看護、リハビリを希望される方、新しい出会いが増えてきていることがとても嬉しく、ひとりひとりの出会いを大切にしていきたいと思えます。

在宅生活の不安や心配事の相談、体力づくりや筋力アップ、体調が整い少しずつ元気になれるよう、スタッフが笑顔を利用者さんに届けています。

「手が動くようになった」「歩くのが上手になった」「痛みや熱があったらすぐに病院行かなくても、看護師さんが来てくれたら安心」などと言って頂ける言葉が嬉しく励みになっています。

在宅で最期を迎えられた方も2名いらっしゃいます。退院時「最期は不安だからきつと入院になると思えます」と病院の方は話していましたが、訪問診療医、訪問看護、ケアマネージャー、福祉用具会社などの在宅チームのサポートで最期まで自宅で過ごしました。

多職種連携も増え、顔の見える関係作りをこれからも大切にし、保健・医療、福祉サービスとの連携を行い、地域住民の方々のサポートをしていきたいと思えます。

## 「いづみ」のセールスポイント

### 皮膚・排泄ケア認定看護師 がいます！

- ・ストーマ管理はお任せ
- ・褥瘡管理が得意です
- ・排泄ケアの相談もご利用者さんの状態に合わせて行います



### セラピストがいます！

- ・作業療法士、理学療法士の二人です
- ・脳神経外科、神経難病の方のリハビリが得意です
- ・日常生活動作に合わせて「生活しやすい身体」を目指します



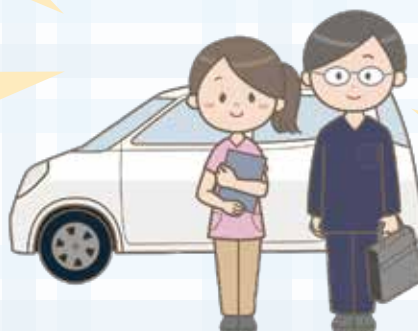
### ベテランナースがいます！

- ・初対面とは思えないほど心にピタッと寄り添い、情報から全体像をアセスメントして在宅生活を安心して送れるようにサポートします



### 団結力！

- 個性あふれるスタッフを…  
母のようにまとめる 所長 浦嶋  
父のように見守る 事務 山本



笑顔になれるお手伝いをします  
いつでも気軽にご相談ください



## 訪問看護ステーション いづみ

所長:浦嶋智恵美(右) 事務:山本 正大(左) ☎011-738-1239

## 新任ドクター紹介

### 神経内科 中村 雅一(なかむら まさかず)

神経内科の中村と申します。平成14年信州大学卒です。卒後、北大第2内科で内分泌医を志しましたが、神経疾患の診療に挑戦したいと思い、医師3年目から北大神経内科に移りました。神経内科では免疫疾患の診療に苦勞することが多く、中でも多発性硬化症の診断、治療については、教科書の記載と目の前で起きている現実がかなり異なっているように感じられ、強い問題意識を持ちました。そこで、病態の本質を知るために、平成23年10月から国立精神・神経医療研究センター免疫研究部に留学しました。基礎、及び臨床研究、新規治療薬の介入研究、海外研究者との交流など心躍る毎日で4年半も在籍しましたが、その経験を臨床に生かすために平成28年1月から北海道医療センターで診療を再開させていただきました。このたび大変有り難いご縁があり、平成30年11月から北海道脳神経外科記念病院で仕事をさせていただいております。尊敬すべき多くの先輩医師の指導を仰ぎ、スタッフ、設備に恵まれた環境で仕事ができることに幸せを感じています。多発性硬化症の診断、治療をより患者さんの役に立つものに改善させることが大きな目標ですが、認知症を初めとする変性疾患も積極的に診療しています。地域の医療機関からのご紹介にも精一杯応えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



# スタッフ紹介



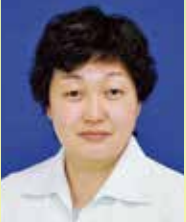
## 看護部 教育師長 小塩 ひとみ

看護職員の教育・研修に関する企画・運営を担当しています。私は看護師ですが、患者さまを直接お世話させていただいたり、患者さまのお話を伺う機会はほとんどありません。しかし、看護師が研修で学んだ知識・技術を実際に活用する、それが患者さまにご満足いただける、皆がもっといい看護をしたいと思える、これが私の喜びであり目標です。昨年は新人看護師の離職がなく着実に成長がみられ、また院外研修参加実績が向上するなど、学習・教育の環境づくりへの一人一人の、そして病院全体での取り組みが実を結びつつあります。看護師の成長が思いやりやさしさとなって患者さまに届くよう、これからも教育の視点から支援していきたいと思います。



## 2階病棟 看護師 若山 恭子

2013年から2階病棟に勤め始めて今年で7年目となりました。脳神経外科での経験は過去に約10年、当院には脳神経外科として15年ぶりの勤務でした。他に血液内科、腎臓内科や泌尿器科などの経験があります。2階病棟は急性期病棟で入院と手術が多く、展開が早いのが特徴です。60床以上もの病床数をかかえており、その対応に当たる看護スタッフも総勢50名ほどとなっています。脳神経外科看護はわずかな対応の遅れが患者さんの生命予後を大きく左右することもあるため、緊張を強いられることも多々ありますが、スタッフが協力しながら業務を行っています。これからより良いチームワークで患者さんとご家族の心に寄り添える看護を提供できるよう、頑張っていこうと思います。



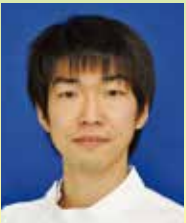
## 3階病棟 看護助手 中西 直美

3階病棟の看護助手をしています。患者さん、スタッフの笑顔に支えられて勤続30年が過ぎました。今は3階病棟ですが、急性期病棟でも働いたことがあります。3階病棟は回復期リハビリテーション病棟です。後遺症があっても安心して安全に退院後も生活していけるようお手伝いさせていただいています。これまでの経験を活かし、患者さんの一人一人の入院生活が少しでも過ごしやすいよう、お手伝いします。また、この病院に入院して良かったと思っただけのような環境を作っていけたらと思います。何か不安なことや分からないことがあれば笑顔で対応しますので、何でもお聞きください。



## 臨床検査科 臨床検査技師 新家 祐子

血液や尿などの検体検査を、当病院開院時より担当させていただいています。当院に入職当時、故三森研自院長より「医師とコ・メディカル(医師以外の医療従事者)が協力して医療が成立する」と言われ、世間知らずの身にはとても斬新に響きました。おかげさまで、様々な院内勉強会等を通じて鍛えていただきました。今も変わらず各部署の方々から柔軟な対応をしていただいております。



## リハビリテーション部 理学療法士 小出 利彦

理学療法士として14年、当院に勤務して9年となります。新病院に移転後は2階、4階の一般病棟を担当し、急性期疾患や神経難病のリハビリに従事しています。今回当院オリジナルの腰痛体操の作成に携わり、文献などを調べていく中でより腰痛を持った方への運動やストレッチのどを考へる機会を得られました。より皆様が行いやすいように今後も改定を行っていきます。これからも急性期や神経難病の患者さまへの効果あるリハビリテーションを提供できるように努めていきます。

# 外来診療体制

## 外来担当医表 [平成31年4月から診療体制が変わりました]

	月MON	火TUE	水WED	木THU	金FRI	土SAT					
						第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
午前	脳神経外科	会青 田樹 今吉 村本	会 田 小 柳	吉 野 小 柳 阿 部	会 田 今 村 吉 本	会青 田樹 千 葉	今 村 青 樹	小 柳 千 葉	小 柳 吉 本 吉 長	会 田 千 葉 長 内	交代制
	脳神経内科	緒西 方村	輿中 水村	緒輿 方水	輿西 水村	新西 保村	西 村	輿 水	中 村	休 診	休 診
	心血管外科		石 井	石 井		石 井			休 診		
	循環器内科				野 村				休 診		
	皮膚科		田 代						休 診		
午後	脳神経外科	遠青 藤樹	小 柳 小 吉 千 野 千 葉	千 葉	吉 野 阿 部	今 村 (14:00~16:00) 吉 野			休 診		
	神経内科	新 保	中 村	大 槻 緒 方 新 保	西 村 中 村	新 保			休 診		
	心血管外科	石 井							休 診		
	循環器内科		野 村		野 村	野 村			休 診		

### 受付・診療時間

- ◆ 午前の診療(平日・土曜日)  
受付は、8時40分から11時30分まで  
診察は、9時より行います
- ◆ 午後の診療  
受付は、11時30分から16時30分まで  
診察は、14時より行います

- ①お電話での予約の申込みや変更は、受診希望日の前日までに下記電話番号へご連絡ください。  
TEL:011-717-2131 月曜日～金曜日(11時～16時)
- ②当院の予約は、来院時間を調整するものであり、必ずその予約時間に診察をお約束するものではありません。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
- ③予約をされていない場合でも、診察させていただきます。
- ④患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承下さい。
- ⑤診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は受付前の掲示板にてご確認ください。このほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ⑥当院は24時間救急対応をいたしております。  
急に具合が悪くなったときは、夜間・休日問わず電話連絡の上、いつでもご来院下さい。  
TEL:011-717-2131

## 歯科

院内歯科では、外来はもとより入院中の患者様の治療も行っています。

### 診療時間

月・水・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
土	10:00~14:00	

### 休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

### 歯科直通

ナインタイムシバ  
TEL&FAX:(011)717-1648

### 理念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

### 基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

### 患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

## Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、

脳・脊髄・末梢神経の疾患を

急性期からリハビリテーションまで

総合的に診る病院です。



### 交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス 北72  
または 西51「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス 軒32  
「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、  
西武デパート跡地南側から中央バス 西71「南新  
川」または 西51「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 http://www.hnsmhp.or.jp